

CASBEE-建築(新築)2016年版
株式会社GSエアサウナ南東建設工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									2.7
Q1 室内環境					0.40				2.8
1	音環境			3.0	0.15	3.0	1.00		3.0
	1.1 室内騒音レベル			3.0	0.50	3.0	0.50		
	1.2 遮音			3.0	0.50	3.0	0.50		
	1 開口部遮音性能			3.0	1.00	3.0	0.30		
	2 界壁遮音性能			-	-	3.0	0.30		
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	3.0	0.20		
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	3.0	0.20		
	1.3 吸音			-	-	-	-		
2	温熱環境			1.6	0.35	2.7	1.00		2.2
	2.1 室温制御			2.2	0.50	3.3	0.50		
	1 室温	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。		3.0	0.63	3.0	0.63		
	2 外皮性能			1.0	0.38	4.0	0.38		
	3 ゾーン別制御性			-	-	-	-		
	2.2 湿度制御			1.0	0.20	1.0	0.20		
	2.3 空調方式			1.0	0.30	3.0	0.30		
3	光・視環境			2.0	0.25	3.3	1.00		2.7
	3.1 昼光利用			1.8	0.30	4.0	0.30		
	1 昼光率	住居・宿泊部分: 2.0% ≤ [昼光率]		1.0	0.60	5.0	0.50		
	2 方位別開口			-	-	3.0	0.30		
	3 昼光利用設備			3.0	0.40	3.0	0.20		
	3.2 グレア対策			1.0	0.30	3.0	0.30		
	1 昼光制御			1.0	1.00	3.0	1.00		
	3.3 照度			3.0	0.15	3.0	0.15		
	3.4 照明制御			3.0	0.25	3.0	0.25		
4	空気質環境			3.6	0.25	3.8	1.00		3.7
	4.1 発生源対策			4.0	0.60	4.0	0.63		
	1 化学汚染物質	JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。		4.0	1.00	4.0	1.00		
	4.2 換気			3.0	0.40	3.6	0.38		
	1 換気量			3.0	0.50	3.0	0.33		
	2 自然換気性能	居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保している。		-	-	5.0	0.33		
	3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.50	3.0	0.33		
	4.3 運用管理			-	-	-	-		
	1 CO ₂ の監視			-	-	-	-		
	2 喫煙の制御			-	-	-	-		
Q2 サービス性能					0.30				2.9
1	機能性			2.4	0.40	3.0	1.00		2.7
	1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	3.0	0.60		
	1 広さ・収納性			-	-	-	-		
	2 高度情報通信設備対応			-	-	3.0	1.00		
	3 バリアフリー計画			3.0	1.00	-	-		
	1.2 心理性・快適性			1.0	0.30	3.0	0.40		
	1 広さ感・景観			-	-	3.0	1.00		
	2 リフレッシュスペース			-	-	-	-		
	3 内装計画			1.0	1.00	-	-		
	1.3 維持管理			3.0	0.30	-	-		
	1 維持管理に配慮した設計			3.0	0.50	-	-		
	2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50	-	-		
2	耐用性・信頼性			2.9	0.30	-	-		2.9
	2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50	-	-		
	1 耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80	-	-		
	2 免震・制震・制振性能			3.0	0.20	-	-		
	2.2 部品・部材の耐用年数			2.7	0.30	-	-		
	1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	-		
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.20	-	-		
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			2.0	0.10	-	-		
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.10	-	-		
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔			3.0	0.20	-	-		
	6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.20	-	-		
	2.4 信頼性			3.0	0.20	-	-		
	1 空調・換気設備			3.0	0.20	-	-		
	2 給排水・衛生設備			3.0	0.20	-	-		
	3 電気設備			3.0	0.20	-	-		
	4 機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-		
	5 通信・情報設備			3.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.2	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり		階高3.0m以上。			3.4	0.50	
1	階高のゆとり				5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ				1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	1.00		
1	空調配管の更新性			3.0	0.20		
2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30			2.5
1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30			2.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40			3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30			2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.5
LR1 エネルギー			-	0.40			4.1
1	建物外皮の熱負荷抑制	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。	4.0	0.20			4.0
2	自然エネルギー利用		2.0	0.10			2.0
3	設備システムの高効率化	BEI = 0.50	5.0	0.50			5.0
4	効率的運用		3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価							
4.1	モニタリング						
4.2	運用管理体制						
集合住宅の評価			3.0	1.00			
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			2.7
1 水資源保護			2.2	0.20			2.2
1.1 節水			1.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00			
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-			
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60			2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGSとOAフロアを使用している。	5.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20			3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70			
1	消火剤						
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用	4.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.4
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物に対して7%。	4.1	0.33			4.1
2 地域環境への配慮			3.3	0.33			3.3
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を使用していない。	5.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制		3.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動		-	-			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制						
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-													
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0		○	○			○						○		
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0				○		○	○					○		
2.4.1 空調・換気設備	-		○												
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○											
2.4.3 電気設備	1.0						○								
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○		○										
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	4.0				2.0					1.0		1.0			
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0											
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0								1.0						
3.2 敷地内温熱環境の向上	7.0			2.0		1.0					2.0	2.0			
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-														
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-														
2.1 材料使用量の削減	-														
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-														
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○		○										
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	10.0		1.0			3.0					3.0	3.0			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0		1.0										
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0			1.0											
3.2.2 砂塵の抑制	-														
3.3.1 屋外植栽及び室内照明の35%以上を光への対策	2.0			2.0											

主な指標		窓システムSC		窓の日射熱取得率(η)	
Q1 室内環境		U値(W/m2K)		窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 -	
2.1.3 外皮性能		住戸部分 窓システムU値 3.8		外皮UA値 0.6 η AC 1.3 η AH 0.4	
3.1.1 昼光率		昼光率 4.0%		自然換気有効開口面積率 26.7%	
4.2.2 自然換気性能		自然換気有効開口面積率 26.7%			
Q2 サービス性能		執務スペース 0.0㎡/人		病床 0.0㎡/床 シングル 0.0㎡ ツイン 0.0㎡	
1.1.1 広さ・収納性		コンセント容量 0.0 VA/㎡			
1.1.2 高度情報通信設備対応		天井高 0 m			
1.2.1 広さ感・景観		リフレッシュスペース 0.0% レストスペース 0.0%			
1.2.2 リフレッシュスペース		想定耐用年数 0 年			
2.2.1 躯体材料の耐用年数		想定必要間隔 0 年			
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		想定必要間隔 0 年			
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		想定必要間隔 0 年			
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		階高 3.06 m			
3.1.1 階高のゆとり		壁長さ比率 0.0%			
3.1.2 空間の形状・自由さ		床荷重 - N/m2			
3.2 荷重のゆとり		外構緑化指数 20%		建物緑化指数 0%	
Q3 室外環境(敷地内)		空地率 72%		水平投影面積率 0%	
1 生物資源の保全と創出		地表面対策面積率 14%		舗装面積率 57%	
3.2 敷地内温熱環境の向上		BPI/BPI _m 対象外		断熱等性能等級 等級4 相当	
LR1 エネルギー		自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡		採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0%	
1 建物外皮の熱負荷抑制		通風を満たす教室数 0.0%		通風を満たす住戸数 0.0%	
2 自然エネルギー利用		BPI/BPI _m 非住宅 -		住宅 0.50 太陽光 82.4kW 太陽熱等 0kW 蓄電池 0kW	
3 設備システムの高効率化		雨水利用率 0.0%			
LR2 資源・マテリアル		特定調達品目 -		エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無		使用比率 0.0%			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		オゾン層破壊係数(ODP) 0		地球温暖化係数(GWP) 3	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		オゾン層破壊係数(ODP) 0		地球温暖化係数(GWP) 3	
3.2.1 消火剤		オゾン層破壊係数(ODP) 0		地球温暖化係数(GWP) 3	
3.2.2 発泡剤(断熱材等)		オゾン層破壊係数(ODP) 0		地球温暖化係数(GWP) 3	
3.2.3 冷媒		見付面積比 100%		隣棟間隔指標R _w 2.35	
LR3 敷地外環境		地表面対策面積率 14.0%		屋根面対策面積率 0.0%	
2.2 温熱環境悪化の改善		見付面積S _b 696㎡		卓越風向と直交する最大敷地幅W _s 61.72 m	
		緑地 465㎡		基礎高さH _b 11.2 m	
		水面 ㎡		保水性対策面 ㎡	
		高反射対策面 ㎡		再帰性反射対策面 ㎡	